

令和4年(2022年)11月11日

保護者の皆様

豊能町立吉川小学校
校長 太田 美和

「令和4年度全国学力・学習状況調査」結果および今後の取組みについて

平素より、本校の教育にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

さて、本年度実施の「全国学力・学習状況調査（6年生対象）」結果について報告させていただきます。なお、調査問題は、文部科学省HPでご覧いただけます。

今年度は、国語・算数・理科の3教科の学力調査と学習状況調査がありました。本校の調査の結果ですが、国語・算数・理科の3教科とも、平均正答率は、全国平均・大阪府平均を上回りました。

この調査で得られる結果は学力の一部であり、全国平均・大阪府平均との比較だけに目を向けず、児童の課題は何か、どんな力をつけたらよいかを考え、課題に正対した取り組みを進めていきたいと思っております。

1. 学力調査の結果（○⇒相当数の児童ができています点 ●⇒課題が見られた点）

① 国語

【概要】「言語の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域において正答率が全国平均を上回りました。特に「話すこと・聞くこと」の領域において、10%以上全国平均を上回りました。

「書くこと」の領域においては、課題が見られました。

○互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる **1四**（話すこと・聞くこと）

○登場人物の相互関係について描写を基に捉える **2一（2）**（読むこと）

●文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える **3一**（書くこと）

●文章に対する意見や感想を伝え合い自分の文章のよいところを気付ける **3二**（書くこと）

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う **3三ア** **3三イ**

○ 「ろくが→録画」 ● 「はんせい→反省」

【課題に対する取組み】

記述式の問題で無答率が高い傾向にあり、「書く」力をつける授業づくりを行っていく必要があります。

国語の授業は勿論のこと、日頃から「自分の考えを書く」「自分の考えを自分の言葉で発表する」などに取り組んできました。「字数の制限がある中で、考えをまとめて書く」「複数の条件に合わせて文章を書く」など条件を満たしながら文章を書く機会も作っていきます。また、どの教科でも、授業の振り返りや宿題での作文・日記・自主学习など、短い文でも構わないので、自分の考えを持ち、自分の言葉で文章を作る機会を継続して作っていきます。

② 算数

【概要】「変化と関係」「データの活用」の領域において正答率が全国平均を上回りました。特に「データの活用」の領域において、10%以上全国平均を上回りました。

「図形」の領域において、課題が見られました。

- 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる **1 (3)** (数と計算)
- 百分率で表された割合と基準量から比較量を求めることができる **2 (2)** (変化と関係)
- 目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる **3 (3)** (データの活用)
- 示された場面において、目的にあった数の処理の仕方を考察できる **1 (4)** (数と計算)
- 示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる **4 (4)** (図形)

【課題に対する取り組み】

- *割合など、計算はできていても、割合の意味が理解できていないことがあります。日常の場面に対応させながら割合について理解する、答えが合えばよしという考えから脱却し、自ら公式を導き出したり、公式の意味を考えたり、数学的思考を高める学習のあり方や授業改善をしていく必要があります。
- *図形については、図形概念を言葉で説明したり、学んだことを実際の生活で使ったり、体験的に習得できるような授業づくりに努めていきます。また、タブレットを活用して、図形の作図をプログラミングで行うなど、図形の意味や性質を基に、作図の仕方を考えたり、作図の仕方を筋道立てて説明したりすることができるように取り組んでいきます。

③ 理科

【概要】全ての領域において正答率が全国平均を上回りました。特に「生命」を柱とする領域において、10%以上全国平均を上回りました。

- 自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えを持ち、その内容を記述できる **1 (2)** (「生命」を柱とする領域)
- 提示された情報を、複数の視点で分析して解釈し、自分の考えを持つことができる **1 (4)** (「生命」を柱とする領域)
- 自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる **3 (3)** (「エネルギー」「地球」を柱とする領域)
- 日光は直進することを理解している **3 (1)** (「エネルギー」を柱とする領域)
- 水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している **4 (4)** (「粒子」「地球」を柱とする領域)

【課題に対する取り組み】

- *実験を通して、身近な現象と結び付けて考える、また、考察と結論を自分で考える力をつけ、グループでも話し合えるような取り組みを行っていきます。
- *図やグラフから必要な情報を読み取る力や、科学的な言葉や概念を理解して説明できる力の育成を図っていきます。

2. 学習状況調査の結果 (○⇒全国と比較して肯定的評価が高い項目 ●⇒肯定的評価がマイナス傾向の項目)

① 学校生活について

○学校に行くのは楽しいと思いますか

○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

○あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの良さを生かして解決方法を決めていますか

【学校生活についての主な特徴と今後の取組み】

「学校に行くのは楽しいと思う」「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」や「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」の項目への肯定的評価は高く、教職員との信頼関係が保たれ、また安心して学ぶことのできる学級・学習集団がつくられていることが推察されます。

「いじめはどんな理由があってもいけない」の項目への肯定的評価は高く、学校生活の規範に対する意識は高いといえます。人間関係のトラブルやつまづきに、本校教職員が児童の思いに耳を傾け、複数教職員で対応し、できるだけ早めの対応に努めています。今後も、人権教育や道徳教育の授業をはじめ本校の教育活動全般で児童一人ひとりの思いを聴き取り、誰もが安心できる居場所のある学級、学校づくりを進めていきたいと考えます。

② 学習について

○算数の授業の内容はよくわかる ○算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う

○算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている

○理科の授業の内容はよくわかる ○理科の授業で、観察や実験の結果からどのようなことが分かったのか考える

○学習した内容についてわかった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている

○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている

●国語の勉強は大切だと思う

●5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。

●学校で、授業中に自分で調べる場面、学校の友達と意見を交換する場面、自分の考えをまとめ、発表する場面でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。

●学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。

【学習についての主な特徴と今後の取組み】

授業の内容はよくわかり、クラスの友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする対話的な学びができているといえます。算数や理科の学習に対する肯定的評価はどの項目でも高いものの、国語に関する項目の中には「国語の勉強は大切だと思う」など肯定的評価が低いものもありました。国語の学習で培われる力、語彙力・読解力・表現力・聞き話す力は、全ての学習の土台になる力と言えます。国語の学習が他のどの教科にも関連する大切なものだと気づかせていきたいです。国語の授業において、この単元でこんな力がついた、学んだことが自分の力になり活用することができたと児童が実感できるような学びを学年ごとに積み重ねていけるように学校全体として取り組む必要があります。

また、授業の中で、デジタル教科書等を活用し、わかりやすい動画を見せたり、英語の発音を聞かせたりすることは日常のものとなり、PC・タブレットを使って、調べ学習をしたり、意見を発表したり交流したりする場面は増えています。児童が学習道具の一つとしてICTを日常的に使ったり、勉強の役に立つと感じたりできるように活用を進めていきたいと思います。

③ 自分のことや生活について

- 自分には、よいところがあると思いますか ○人が困っているときは、進んで助けていますか
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか ○家で自分で計画をたてて勉強をしていますか
- 読書は好きですか ○自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか
- 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか【1時間以上】
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っていますか
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）【1時間以上】
- 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。

【自分のことや生活についての主な特徴と今後の取組み】

「自分には、よいところがある」と自己を肯定的に捉えられている児童が多く、「人が困っているときは、進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」に100%、全員が肯定的評価をしています。縦割り活動でも低学年の面倒をよく見て優しく関わり、様々な場面で率先して声をかけ動いてくれる6年生の特徴がよく出ています。

「テレビゲームを1時間以上する割合」は全国に比べて低く、「家で自分で計画をたてて勉強している」「読書をする」割合は高めですが、「普段1時間以上学習する割合」は全国に比べて低めの傾向が見えます。また携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っていないと感じている児童がおり、使用時間が長くなってしまいう傾向がみられるようです。

自然の中で遊ぶことや自然観察をすると答える児童は全国と比較して10%ほど高く、自然豊かな豊能や吉川的生活環境を反映しているといえます。低学年の頃から身の回りの生物について、探したり観察したり飼育したりする機会が多く、成長の過程や体のつくりに興味を持ったり調べたりすることが、理科「生命」領域の良好な結果に結びついている様子もみられました。体験から学ぶ学習を、今後も継続していきます。

また、「とよの未来科」の学習等を通して、地域の良さを知り、地域や社会をよくするために、自分たちでできることを考える機会を作っていきたいと思います。

調査結果から見えてきた児童の課題に正対した取組みを進めると共に、教職員一同、保護者・地域の皆さんと一緒に子どもたちの健やかな成長を見守り、支えていきたいと考えています。今後とも学校教育活動にご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。